

(注) 本報は、主に現地紙における報道を当館限りで日本語でまとめたものです。記事の中の客観事実は日本政府や現地政府の公式見解と異なる場合がありますが、当館では文責は負いかねますのでご了承ください。

ガボン共和国月報(2024年10月)

2024年10月号
在ガボン日本国大使館

1. 内政・外交

- 4～5日、オリギ・ンゲマ暫定大統領はパリで行われた第19回フランコフォニー・サミットに出席した。「フランス語で創造し、革新し、起業する」というテーマのもと、革新と起業に焦点を当てられたこの会議では、オリギ・ンゲマ暫定大統領が若者の起業促進と教育プログラムの強化を訴えた(7日付GMT)。
- 17日、新憲法案がオリギ・ンゲマ暫定大統領からンドン・シマ首相に手交され、新憲法にかかる国民投票が11月16日に実施されることが発表された。それに伴い、国民投票の実施を規定する4つの政令案も発表された(17日付UN)。
- 21日、ンドン・シマ首相は新憲法案を発表した。この草案は国家の再構築と制度強化を目指しているが、11月の国民投票を前に激しい議論を巻き起こす可能性がある(22日付GR)。

2. 経済

- 21日、ガボンはユーロボンドの50%、1920億セーファー・フラン(約3億ユーロ)を買い戻す公開買付けを正式に開始した。2025年6月が満期となっているこの債務を早期に返済するという前例のない措置によって、ガボンは国際金融市場における信頼性を回復させ、金融パートナーや国際格付け機関に安心感を与えるだけでなく、今後より有利な融資条件を引き出せる可能性がある(27日付UN)。

出典:ガボン・レビュー(GR)、ユニオン(UN)、ガボン・メディア・タイム(GMT)

(了)